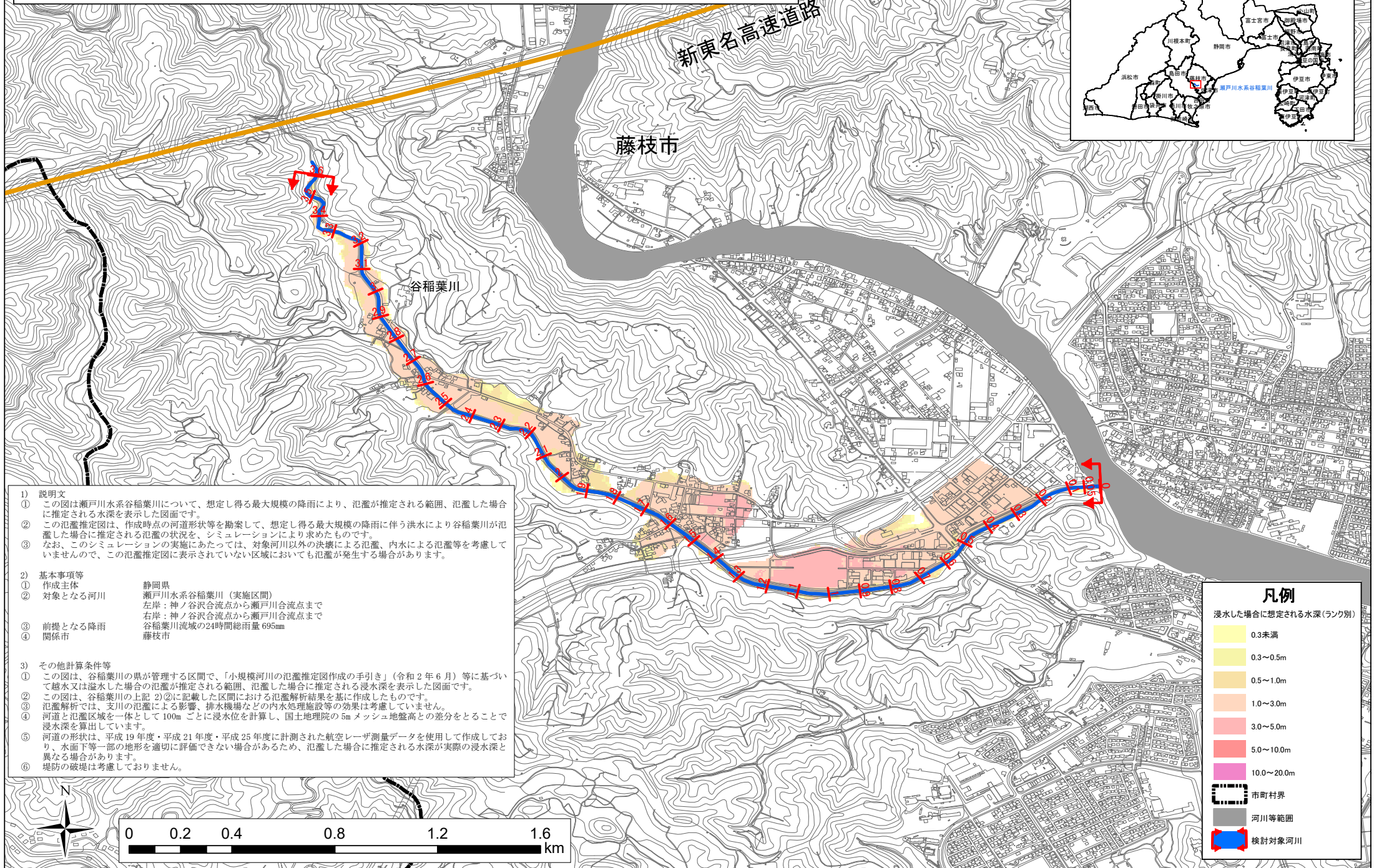
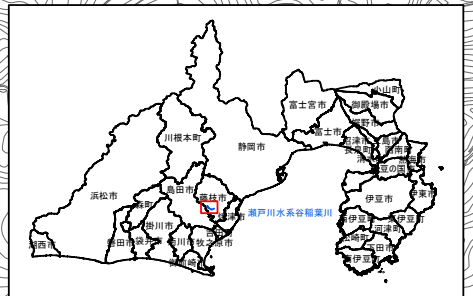


# 瀬戸川水系谷稲葉川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



- 1) 説明文
- この図は瀬戸川水系谷稲葉川について、想定し得る最大規模の降雨により、氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される水深を表示した図面です。
  - この氾濫想定図は、作成時点の河道形状等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により谷稲葉川が氾濫した場合に推定される氾濫の状況を、シミュレーションにより求めたものです。なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の決壊による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この氾濫想定図に表示されていない区域においても氾濫が発生する場合があります。
- 2) 基本事項等
- 作成主体 静岡県
  - 対象となる河川 瀬戸川水系谷稲葉川(実施区間)  
左岸：神ノ谷沢合流点から瀬戸川合流点まで  
右岸：神ノ谷沢合流点から瀬戸川合流点まで
- 3) 前提となる降雨
- 関係市 谷稲葉川流域の24時間総雨量 695mm
  - 藤枝市
- 3) その他計算条件等
- この図は、谷稲葉川の県が管理する区間で、「小規模河川の氾濫想定図作成の手引き」(令和2年6月)等に基づいて越水又は溢水した場合の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される浸水深を表示した図面です。
  - この図は、谷稲葉川の上記 2)②に記載した区間における氾濫解析結果を基に作成したものです。
  - 氾濫解析では、支川の氾濫による影響、排水機場などの内水処理施設等の効果は考慮していません。
  - 河道と氾濫区域を一体として100mごとに浸水位を計算し、国土地理院の5mメッシュ地盤高との差分をとることで浸水深を算出しています。
  - 河道の形状は、平成19年度・平成21年度・平成25年度に計測された航空レーザ測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があるため、氾濫した場合に推定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
  - 堤防の破堤は考慮しておりません。

### 凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.3未満
- 0.3~0.5m
- 0.5~1.0m
- 1.0~3.0m
- 3.0~5.0m
- 5.0~10.0m
- 10.0~20.0m

市町村界  
 河川等範囲  
 検討対象河川

